

地方銀行の収益分析

(中間報告概要)

平成28年4月4日

地方銀行の収益分析について

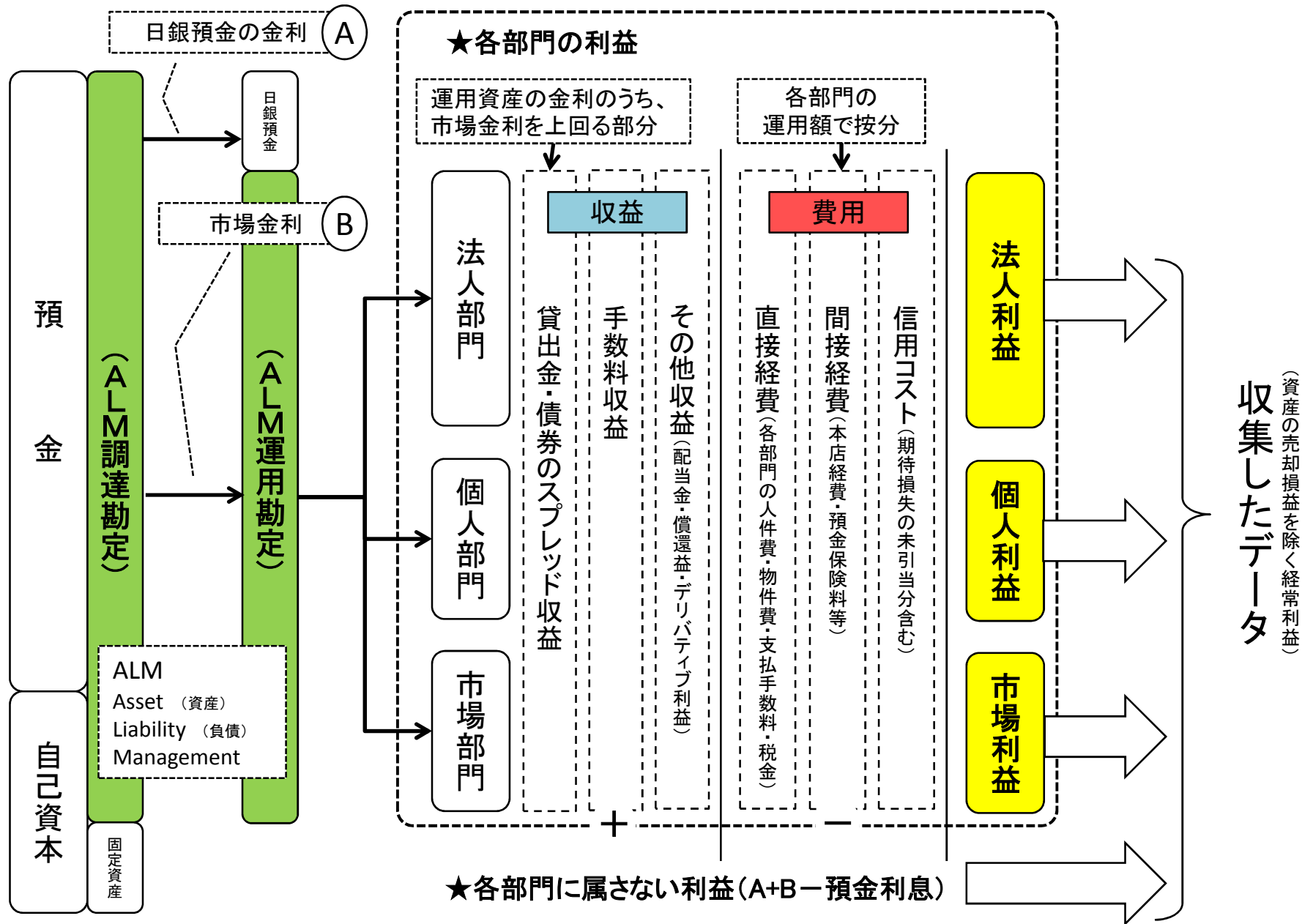
I. 趣旨・目的

- 現在の地域金融機関は、貸出増加のための金利競争が目立つなど、地域密着型金融の実践が不十分ではないかとの指摘がなされている。
- この背景の一つとして、地域金融機関における持続可能なビジネスモデルの構築が不十分であることが考えられる。
- 以上を踏まえ、まずは地域銀行の収益構造を分析し、持続可能なビジネスモデルの構築に向けた課題や方向性について議論する。

II. 収益分析の概要

- 平成26年度決算の国内経常損益について、法人、個人、市場の各部門別の損益と、各部門に属さない利益に区分。
 - ⇒ 地方銀行の収益構造に沿った分析。
- 地方銀行21行(上位行中心)に対して、データの提出を依頼。
 - ⇒ 比較・分析可能なデータが提出された12行について分析。

収益分析の概要(地方銀行の収益構造)



収益分析で得られた結果(1)

1. 12行の単純平均のデータ

① 金利のうち、市場金利が46%

⇒ 過去の市場金利が高い時に約定した貸出金・債券の金利が利益に寄与。

② 手数料収益は、個人部門が最多

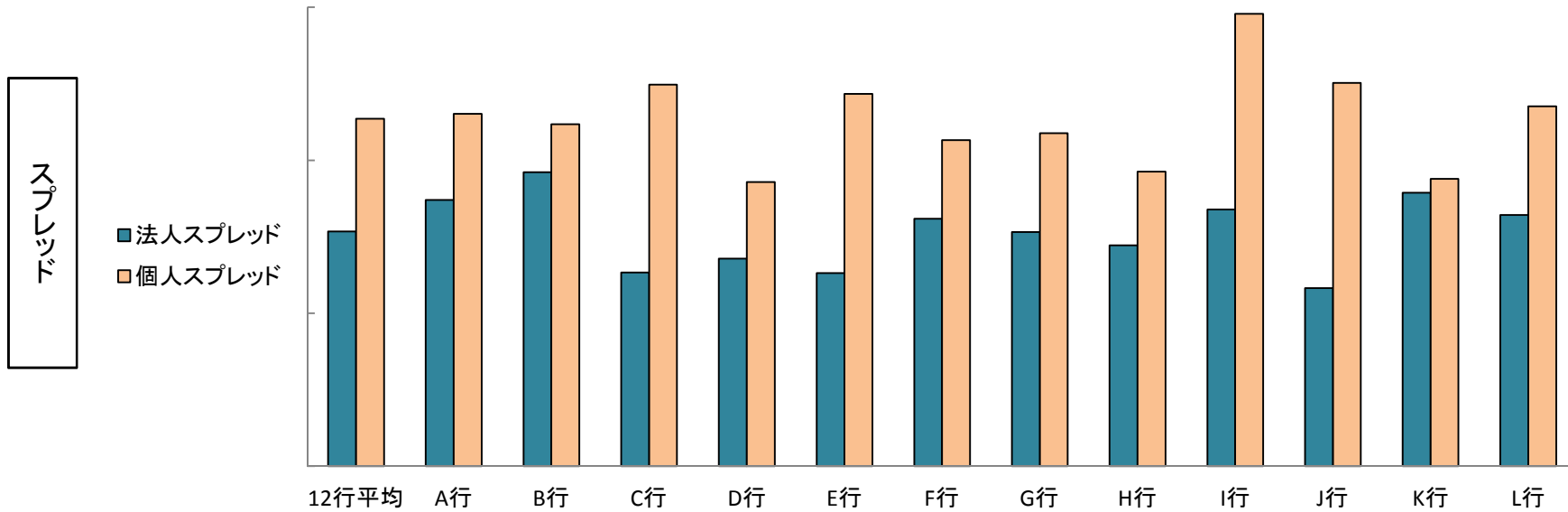
⇒ 金融商品販売等が寄与。

③ 部門別損益は、法人・個人・市場ともマイナス

⇒ 各部門とも、経費を賄いきれていない。

収益分析で得られた結果(2)

2. 銀行によるばらつき



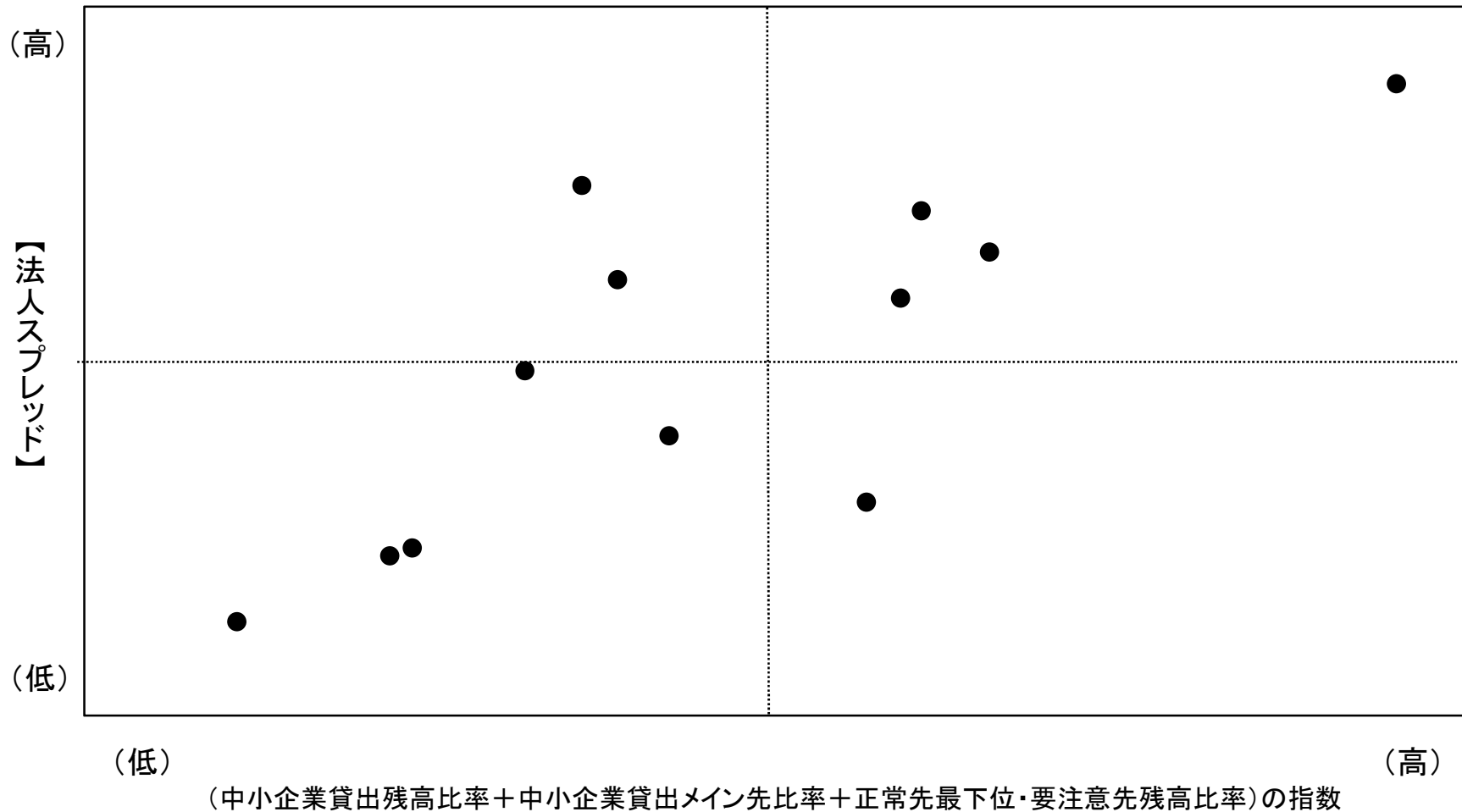
部門別損益

	12行平均	A行	B行	C行	D行	E行	F行	G行	H行	I行	J行	K行	L行
法人利益	色付き	色付き	白	色付き	色付き	色付き	色付き	白	色付き	白	色付き	白	白
個人利益	色付き	白	色付き	白	白	白	色付き	色付き	色付き	色付き	白	色付き	色付き
市場利益	色付き	白	白	色付き	色付き	色付き	色付き	白	白	白	色付き	色付き	色付き

注: 色付きはマイナス

法人スプレッドと各指標の関係(1)

- ▶ 法人スプレッドが12行平均より高い銀行は、地域銀行106行の平均と比べて、以下の貸出傾向がみられた
 - ① 中小企業の貸出残高比率が高い、② 中小企業のメイン先が多い、③ 業況不芳企業にも対応している、④ 短期貸出が多い
- ▶ 「中小企業貸出残高比率」+「中小企業貸出メイン先比率」+「正常先最下位+要注意先残高比率」を指数化してグラフ表示



* 指数化の方法・・・各指標で(各銀行の値÷地銀平均)-1を算定し、3つの指標の値を平均・・・各指標の平均から上下への乖離を表す

法人スプレッドと各指標の関係(2)

- ▶ 法人スプレッドが12行平均より低い銀行は、地域銀行106行の平均と比べて、以下の貸出傾向がみられた
 - ①大口先の貸出残高比率が高い、②大企業や地方公共団体の貸出額が多い、③新規先を獲得して貸出額を増やしている、④信用保証協会の利用額が多い
- ▶ 「大口100先貸出比率」+「大企業・地方公共団体貸出残高比率」+「新規貸出実行額比率」を指数化してグラフ表示

